

平成29年度倉敷市立自然史博物館協議会 議事録（要旨）

開催日時) 平成29年7月14日（金）14時～16時10分

開催場所) 倉敷市立自然史博物館連絡室

協議事項) 平成28年度入館者数等について
平成28年度事業報告
平成28年度決算報告
平成29年度事業計画
平成29年度予算説明

出席委員) 榎本敬会長，河邊誠一郎副会長，鴨井香織委員，小橋理絵子委員，小林洋一委員，
田口明子委員，地職恵委員，三宅誠治委員

欠席委員) 島岡浩恵委員，堀江明香委員

事務局) 加藤博敏教育次長，川原伸次生涯学習部長，小野行弘館長，江田伸司主幹，狩山俊
悟主幹，奥島雄一主任，武智泰史主任，石井陽子副主任

傍聴者) なし

議事録（要旨）

1 開会

2 開会あいさつ

加藤博敏教育次長

3 新任委員のあいさつ

田口明子委員

4 委員・職員自己紹介

5 協議

(1) 平成28年度入館者数等について

(事務局) 資料をもとに説明。27年度に比べ28年度が3割ほど減っているのは、27年度に
ライフパーク倉敷で開催した夏休み特別企画展「生命 過去から未来へ ～恐竜が倉敷へやって

きた～ 林原コレクションより」がたいへん好評でだったのに対し、28年度に倉敷市立美術館で開催した特別展示「発掘された過去・現在・未来」を大幅に上回ったはそれほどでもなかったため。博物館設置の目的の達成度を計る主要な定量的指標として利用者数があるので、引き続き利用者増を図りたい。

(2) 平成28年度事業報告について
(事務局) 資料をもとに説明。

(3) 平成28年度決算報告について
(事務局) 資料をもとに説明。

議 長：事務局の以上の説明について、ご意見・ご質問等はありませんか。

委 員：恐竜の展示は子どもたちに人気がある。博物館に標本があつて、展示ができていないものはどれくらいあるのか。

事務局：恐竜関係は林原コレクションがあり、全部で342点のうち恐竜以外の10点を第1展示室に展示している。なお、これとは別に10年ほど前の展示更新のときには恐竜の大腿骨を1点展示した。

委 員：多くの標本は展示できていないということだろうか。

事務局：大きな標本を置くことは展示スペースから考えて難しい。

委 員：恐竜のような大きなものがあると迫力があつて子どもたちを引き付ける。展示スペースと収蔵スペースの確保をお願いしたい。

事務局：ティラノサウルスのような大型の標本を展示するには十分な展示スペースが必要になるが、当館にはそれだけのスペースがなく、収蔵も展示もできない。あれほどの大型標本が展示されていれば迫力がある。平成27年度はライフパーク倉敷、昨年度は倉敷市立美術館、本年度は高梁川流域連携中枢都市圏事業として、高梁市成羽美術館に展示して多くの市民等に接する機会を提供してきた。しかし、今後は市内、市外を問わずなかなか展示するスペースを確保することは難しいと考えており、また、常設展示については、今後博物館がどうあるべきかということなども勘案しながら、検討していく必要があると考えている。

委 員：倉敷中心に標本を集め、展示していることもあるのだろうが、大きな恐竜が展示できないのは残念。県外からの観光客や子どもたちに見てもらいたい。

議 長：展示で見られる標本は博物館が所蔵する資料の氷山の一角に過ぎないが、今年の特別展

のチョウ展ではチョウの標本全部を見ることができる。展示場所と収蔵場所を今後確保する必要がある。植物の標本は日本一棚に詰め込んでいる。

事務局：チョウ展では3万点を展示している。今あるスペースを有効に活用しながら貴重な資料を保存していくことは本館の主要な課題であると認識している。学校の教室や仮収蔵庫を確保して標本の収蔵に努力している。収蔵スペースを含めて博物館がどうあるべきか考えていきたい。新しいものを建てることは財政的なこともあり一朝一夕にはいかない。資料の精査も必要と考えている。

委員：昨年の特展「金銀銅の自然史」の展示は素晴らしかったが、今は見られないのか。

事務局：解説パネルはある。展示標本250～300点のうち半数ぐらいは借りたものなので、返却したものは見られない。

委員：解説パネルには詳しい説明があった。すべての標本の写真と解説を組み合わせる冊子にし、見せてほしい。

事務局：すべての標本となると改めて所有者の許諾が必要なものが出てくる。展示そのままではないが、友の会のメーリングリストには約40回に分けて展示内容を流した。これを見ることはできる。

委員：せっかく展示をしたので市民の皆様が見えるようにしてほしい。

議長：展示解説書が欲しかった。博物館のホームページに載せればよいのでは。

事務局：標本写真の再利用は権利上の問題があり難しい。林原コレクションについては大きな標本はすぐに展示することは無理だが、小さな標本はすでに常設展示で使っている。できればまとめてコレクションを展示した方が展示効果が高いと考えている。

委員：1階の観光休憩所は展示に使えないのか。

事務局：まちかど博物館のユニットを何点か置いている。林原コレクションを置くこともできるが、外光が入ってくるので注意が必要。

委員：貴重な収蔵標本は管理が必要で、そのためにはスタッフの充実も必要になってくる。

委員：収蔵標本のデジタル化はしないのか。

事務局：1点1点の標本は公開できていない。標本情報の一部はネット上で公開している。

委員：知りたい生き物がどこにいるのか分かるのか。

事務局：個人情報や自然保護の立場もあるので不用意に情報が公開できないこともある。

事務局：国立科学博物館の運営するサイエンスミュージアムネットを使えば、生物名を入れると標本や記録の情報を検索できる。

委員：子どもを連れてくると和式トイレの使い方が分からないことがある。各階のトイレに洋式トイレを作ってほしい。手洗いの水道のコックがバーに変えられていて良いことだと思う。

事務局：手洗いのバーは今年度交換した。トイレはできるところから改善している。トイレは構造上の問題があり、洋式に変えるとブースが減るかもしれないし、全部変えるとなると相当金額がかかる。子どもたちが多い施設なので、できるところから取り組みたい。

委員：地階の方に下りていくといろいろなものが雑然と置かれていて、ワクワクした気持ちになえてくる。衝立を置くなどして、環境作りに配慮してほしい。

委員：資料によって空調管理が必要なものがあるのか。

事務局：資料の性質によって空調が必要になるものがある。第1収蔵庫は乾燥標本を保存しているため年間を通して空調している。ここが標本がいっぱいになり、廊下にあふれている。地階にある第2収蔵庫には地学関係の標本を保存し、空調は行っていない。館外には3か所に仮の収蔵スペースを確保し、機械警備または人がいる所を活用している。生物標本は虫害が心配だが、昆虫標本は密閉性の高いドイツ箱に入っていて、揮発性のある殺虫剤を設置している。

委員：標本が痛まないよう、UVカットフィルムを使っているのか。

事務局：昆虫標本は棚に入っているので通常日光は入らないようになっている。

(4) 平成29年度予算説明について
(事務局) 資料をもとに説明。

(5) 平成27年度事業計画について
(事務局) 資料をもとに説明。

議長：事務局の以上の説明について、ご意見・ご質問等はありませんか。また、博物館全般についても、ご意見・ご質問等はありませんか。

議長：トイレを整備するとなると博物館の予算を使うことになるのか。

事務局：管理運営費として予算要求し、認められれば予算がつく。

議長：外枠では予算はつかないのか。

事務局：要求して必要と認められれば予算がつく。予め定額予算があつて、トイレ整備予算は別枠ということではない。

委員：博物館でデートをして結婚したという話がある。博物館をきれいにしてほしいという理由にならないか。

事務局：すべての要望に応えるのは難しい。

委員：大阪市立自然史博物館が主催した巡回展の海底地形模型は、海底の地形や鳴門の渦潮ができる理由がわかり素晴らしかった。倉敷にも置いてもらえないか。

事務局：海底地形模型は7月15日から始まる大阪市立自然史博物館の特別展で展示されている。特別展が終われば巡回展用の展示物として貸出しを受けられるので、機会があれば利用したい。

委員：ホームページに来館者の声を載せたらどうか。来館者と博物館がつながるきっかけとなる。

議長：他にご意見ご質問等がないようなので、本日の協議を終了させていただく。

5 その他

・第26回特別展の概要

(事務局) 概要説明後、展示室で担当学芸員から説明あり。

・感謝状贈呈

5期10年以上委員を務められた榎本敬会長、河邊誠一郎副会長に感謝状贈呈。

6 閉会あいさつ

川原伸次生涯学習部長

7 閉会

協議会終了後、第26回特別展「チョウきれい！チョーたのしい！昆虫展」を見学。

以上を、平成29年7月14日開催の平成29年度倉敷市立自然史博物館協議会議事録（要旨）とすることに同意します。

平成29年 8月 1日

倉敷市立自然史博物館協議会
会長 榎本 敬

